

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	文化財悉皆調査記録保存事業		
■事業開始年度	平成24年度		
■評価事業コード	400600 - 080	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	地域の未指定文化財をテーマごとに全市的に調査し、その所在や保存状況、価値等を把握するとともに価値ある文化財の保存伝承に資する。また郷土の歴史や文化を学習する文献資料として活用を図る。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	文化財悉皆調査記録保存事業	市民、市内所在文化財	鰐口・絵馬の調査(29年度までの3か年計画)	市内寺社8カ所で、鰐口・絵馬の調査を実施。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	765	26	19	102	
人件費	540	4,021	3,454	2,401	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,305	4,047	3,473	2,503	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	調査対象とする文化財の調査委員会議回数	4回(進捗状況報告・報告書編集)				
	調査対象とする文化財の調査件数		鰐口17点、絵馬8点(基礎調査)	鰐口14点、絵馬37点(基礎調査)	鰐口8点、絵馬41点(基礎調査)	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

未調査だった資料を調査したことで、資料の価値を確認することができた。新たな情報を得ることができた。

問題点・課題等

管理者との連絡がつかず、未調査力所があり、継続した調査が必要である。同様の手法で、継続的に未調査文化財調査を進めたいが、価値と必要性を認識できる専門職員の配置が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

価値ある未指定文化財を確認することで、その価値を情報発信し、保存や伝承、文化財の活用への契機となる。重要な物件について文化財指定を進め、保護保存を図るため、継続実施が必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了